

I 調査結果の概要



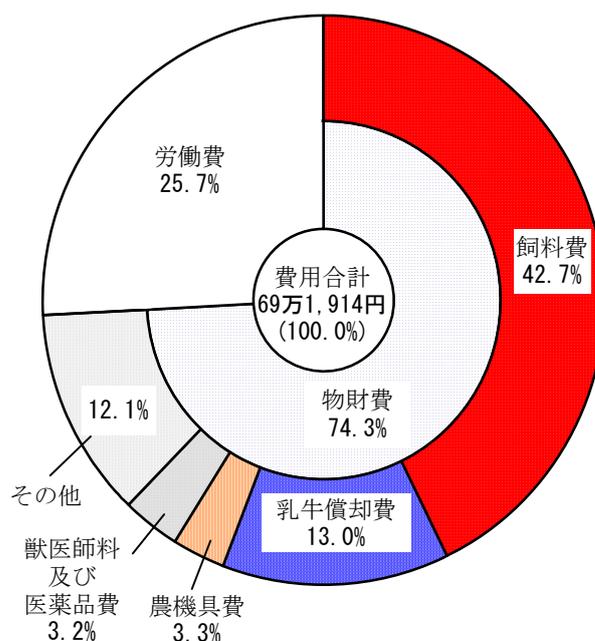
1 牛乳生産費

(1) 平成18年の搾乳牛通年換算1頭当たり(以下「搾乳牛1頭当たり」という。)の資本利子・地代全額算入生産費(以下「全算入生産費」という。)は66万9,561円で、前年に比べ0.9%増加し、生乳100kg当たり(乳脂肪分3.5%換算)全算入生産費は7,335円で、前年に比べ0.6%増加した。

(2) 搾乳牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、労働時間の減少から労働費が減少したものの、乳牛の取得価格の上昇により償却費が増加したことや、原油価格の高騰により光熱動力費が増加したこと等による。

(3) 搾乳牛1頭当たり粗収益は乳価が低下したことにより前年に比べ1.0%減少し、73万3,731円となった。

図1 主要費目の構成割合
(搾乳牛1頭当たり)



第1表 牛乳の生産費及び収益性

区分	搾乳牛通年換算1頭当たり		乳脂肪分3.5%換算乳量100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
	円	%	円	%
生産費	513,802	2.3	5,629	2.0
労働費	178,112	△ 0.9	1,951	△ 1.2
費用合計	691,914	1.5	7,580	1.2
生産費(副産物価額差引)	623,667	1.0	6,832	0.7
支払利子・地代算入生産費	635,223	1.0	6,959	0.8
資本利子・地代全額算入生産費	669,561	0.9	7,335	0.6
粗収益	733,731	△ 1.0	-	-

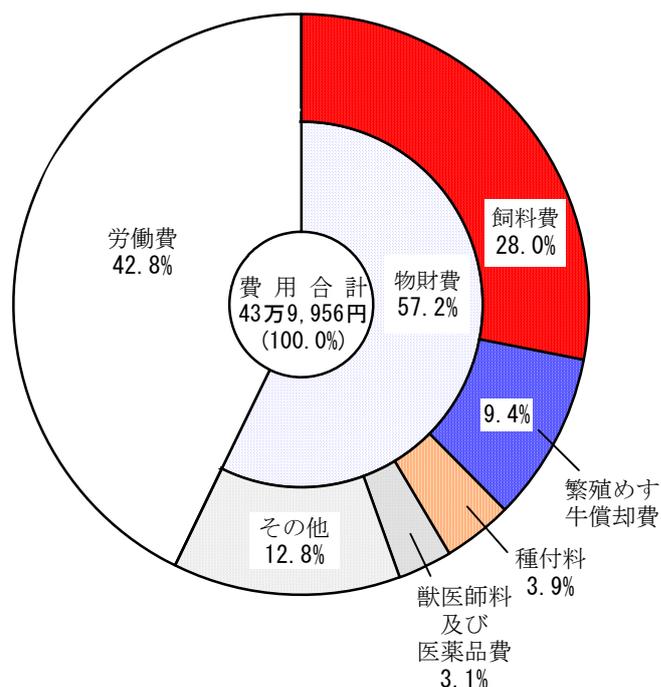
2 子牛生産費

(1) 繁殖めす牛を飼養し、肉専用種の子牛を販売する経営における平成18年の子牛1頭当たり全算入生産費は46万5,906円で、前年に比べ0.6%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、飼養規模の拡大により労働費が減少したことや、繁殖めす牛売却価格の上昇により繁殖めす牛償却費が減少したものの、種付料が増加したことや原油価格の高騰により光熱動力費が増加したこと等による。

(3) 繁殖めす牛1頭当たり粗収益は、子牛価格が堅調に推移したことから前年に比べ4.7%増加し、50万2,488円となった。

図2 主要費目の構成割合
(子牛1頭当たり)



第2表 子牛の生産費及び収益性

区 分		実 数	対 前 年 増 減 率
		円	%
生 産 費	子牛1頭当たり		
	物 財 費	251 797	0.9
	労 働 費	188 159	△ 2.4
	費用合計	439 956	△ 0.5
	生産費(副産物価額差引)	400 053	0.0
	支払利子・地代算入生産費	406 444	0.1
資本利子・地代全額算入生産費	465 906	0.6	
繁殖めす牛1頭当たり			
粗 収 益	502 488	4.7	

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

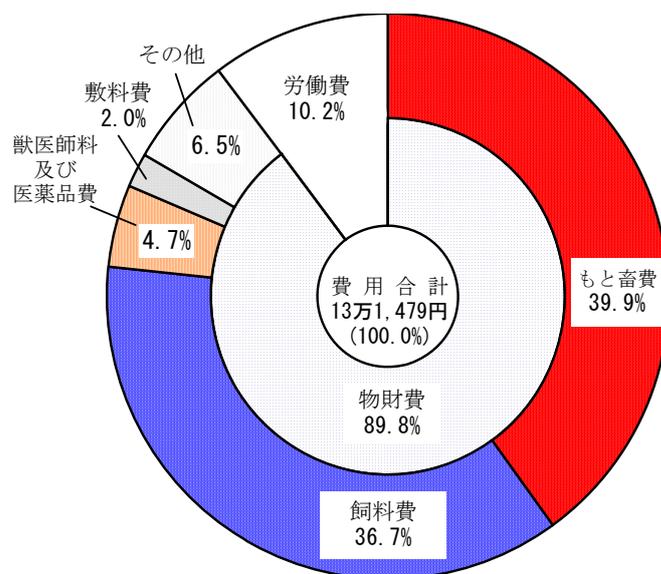
3 乳用おす育成牛生産費

(1) 乳用種のおす子牛を育成し、販売する経営における平成18年の乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費は13万2,596円で、前年に比べ2.2%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、飼養規模の拡大により労働費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成16年10月～17年9月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は、乳用種の子牛価格が大幅に上昇したことから前年に比べ45.3%増加し、11万36円となった。

図3 主要費目の構成割合（1頭当たり）



第3表 乳用おす育成牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り	
		実 数	対 前 年 増 減 率
		円	%
生 産 費	物 財 費	118 032	3.1
	労 働 費	13 447	△ 7.4
	費 用 合 計	131 479	1.9
	生産費（副産物価額差引）	128 694	2.2
	支払利子・地代算入生産費	130 073	2.2
	資本利子・地代全額算入生産費	132 596	2.2
粗 収 益		110 036	45.3

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

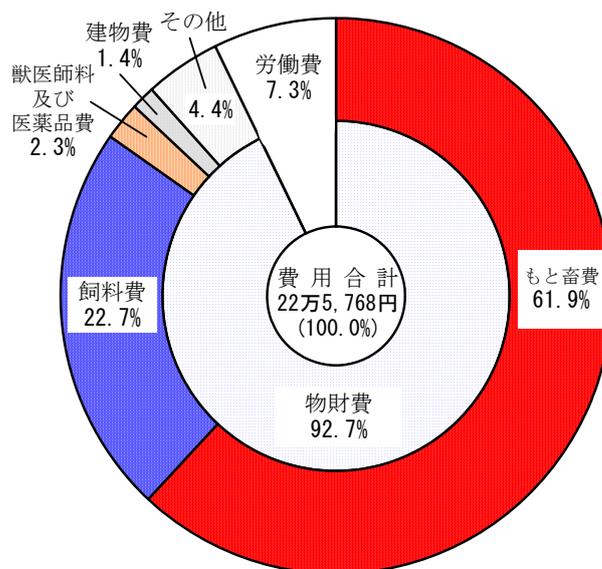
4 交雑種育成牛生産費

(1) 交雑種の子牛を育成し販売する経営における平成18年の交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は22万7,490円で、前年に比べ5.5%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成16年9月～17年8月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は交雑種の子牛価格が堅調に推移したことから前年に比べ7.5%増加し、25万2,863円となった。

図4 主要費目の構成割合（1頭当たり）



第4表 交雑種育成牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り	
		実 数	対 前 年 増 減 率
		円	%
生 産 費	物 財 費	209 387	5.7
	労 働 費	16 381	△ 0.3
	費 用 合 計	225 768	5.3
	生産費（副産物価額差引）	223 208	5.5
	支払利子・地代算入生産費	224 724	5.5
	資本利子・地代全額算入生産費	227 490	5.5
粗 収 益		252 863	7.5

注：粗収益には、肉用子牛生産者補給金等の補助金を含まない。

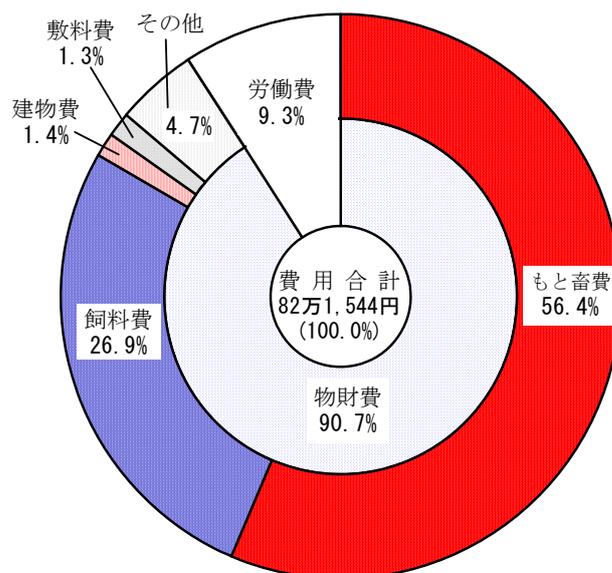
5 去勢若齢肥育牛生産費

(1) 肉専用種の去勢若齢和牛を肥育し、販売する経営における平成18年の去勢若齢肥育牛1頭当たり全算入生産費は83万916円で、前年に比べ2.6%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、飼養規模の拡大等により労働費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成15年8月～16年7月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は牛枝肉価格が堅調に推移したことから前年に比べ5.3%増加し、93万2,316円となった。

図5 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



第5表 去勢若齢肥育牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り		生 体 100kg 当 た り	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	745 104	3.5	104 377	3.4
	労 働 費	76 440	△ 5.5	10 708	△ 5.6
	費 用 合 計	821 544	2.6	115 085	2.5
	生産費（副産物価額差引）	805 022	2.9	112 771	2.7
	支払利子・地代算入生産費	817 482	2.7	114 516	2.6
	資本利子・地代全額算入生産費	830 916	2.6	116 398	2.5
粗 収 益		932 316	5.3	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

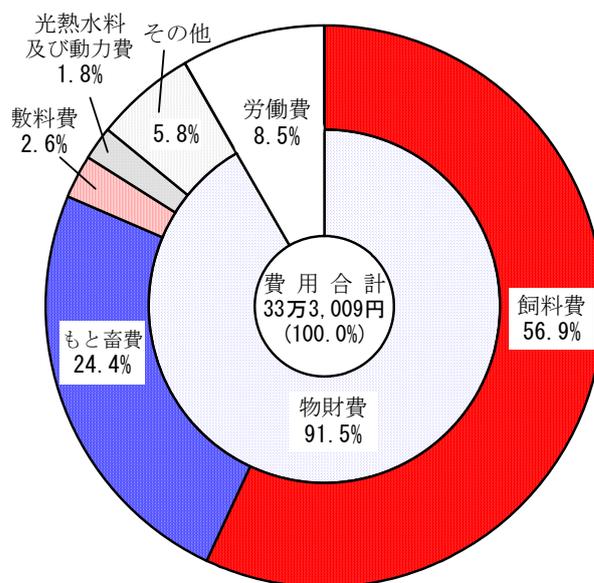
6 乳用おす肥育牛生産費

(1) 乳用種のおす牛を肥育し、販売する経営における平成18年の乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費は33万7,965円で、前年に比べ1.7%増加した。

(2) 全算入生産費が減少したのは、飼養規模の拡大により労働費及び建物等の減価償却が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成16年2月～17年1月）におけるもと畜費が大幅に増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は牛枝肉価格が堅調に推したことから前年に比べ4.1%増加し、37万7,112円となった。

図6 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



第6表 乳用おす肥育牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り		生 体 100kg 当 た り	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	304 840	2.2	40 553	3.5
	労 働 費	28 169	△ 9.6	3 748	△ 8.4
	費 用 合 計	333 009	1.1	44 301	2.4
	生産費（副産物価額差引）	326 820	2.0	43 478	3.3
	支払利子・地代算入生産費	330 386	1.5	43 952	2.9
	資本利子・地代全額算入生産費	337 965	1.7	44 960	3.1
	粗 収 益	377 112	4.1	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

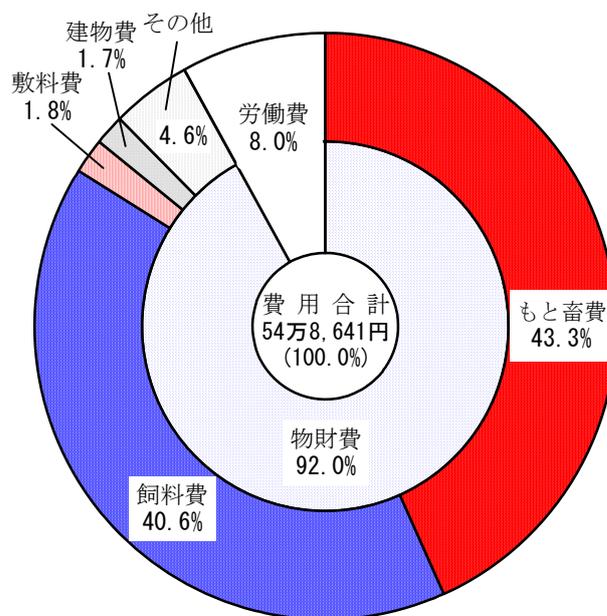
7 交雑種肥育牛生産費

(1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成18年の交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は55万8,841円で、前年に比べ2.6%増加した。

(2) 全算入生産費が増加したのは、畜舎等の建物償却費が減少したことや、肥育期間の短縮に伴い敷料費が減少したものの、もと牛導入時期（主に平成15年9月～16年8月）におけるもと畜費が増加したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は牛枝肉価格が堅調に推移したことから前年に比べ6.9%増加し、63万2,206円となった。

図7 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
生	円	%	円	%
物財費	504 593	3.1	68 377	1.9
労働費	44 048	△ 0.8	5 969	△ 1.9
費用合計	548 641	2.8	74 346	1.6
生産費 (副産物価額差引)	539 387	2.6	73 092	1.5
支払利子・地代算入生産費	546 593	2.6	74 068	1.5
資本利子・地代全額算入生産費	558 841	2.6	75 728	1.5
粗収益	632 206	6.9	-	-

注：粗収益には、肉用牛肥育経営安定対策事業の補てん金等の補助金を含まない。

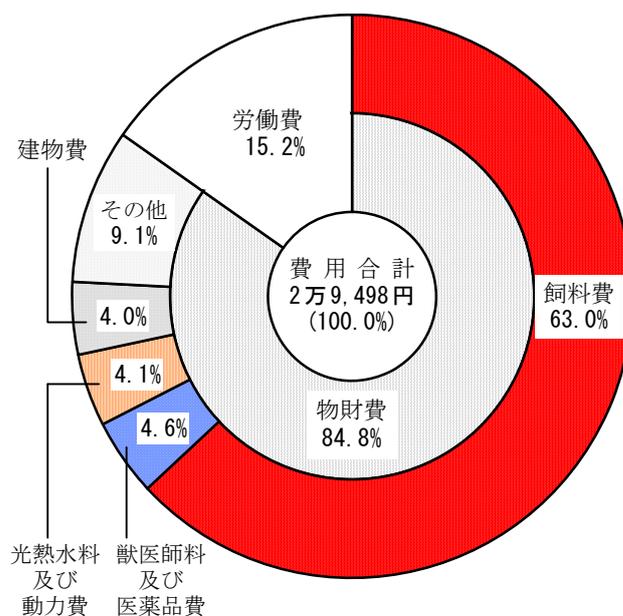
8 肥育豚生産費

(1) 平成18年の肥育豚1頭当たり全算入生産費は2万9,676円で、前年に比べ0.9%減少し、生体100kg当たり全算入生産費は2万6,721円で、前年に比べ0.8%減少した。

(2) 全算入生産費が減少したのは、原油価格の高騰により光熱動力費が増加したものの、配合飼料価格の低下により飼料費が減少したことや家族労働時間の減少により労働費が減少したこと等による。

(3) 1頭当たり粗収益は豚枝肉価格が堅調に推移したことから前年に比べ3.4%増加し、3万2,266円となった。

図8 主要費目の構成割合
(1頭当たり)



第8表 肥育豚の生産費及び収益性

区分	1頭当たり		生体100kg当たり	
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率
生産費	円	%	円	%
物財費	25,008	△ 1.0	22,518	△ 0.9
労働費	4,490	△ 2.0	4,042	△ 1.9
費用合計	29,498	△ 1.1	26,560	△ 1.1
生産費(副産物価額差引)	28,739	△ 1.1	25,876	△ 1.1
支払利子・地代算入生産費	28,956	△ 1.0	26,072	△ 1.0
資本利子・地代全額算入生産費	29,676	△ 0.9	26,721	△ 0.8
粗収益	32,266	3.4	-	-